

MADE IN JAPAN

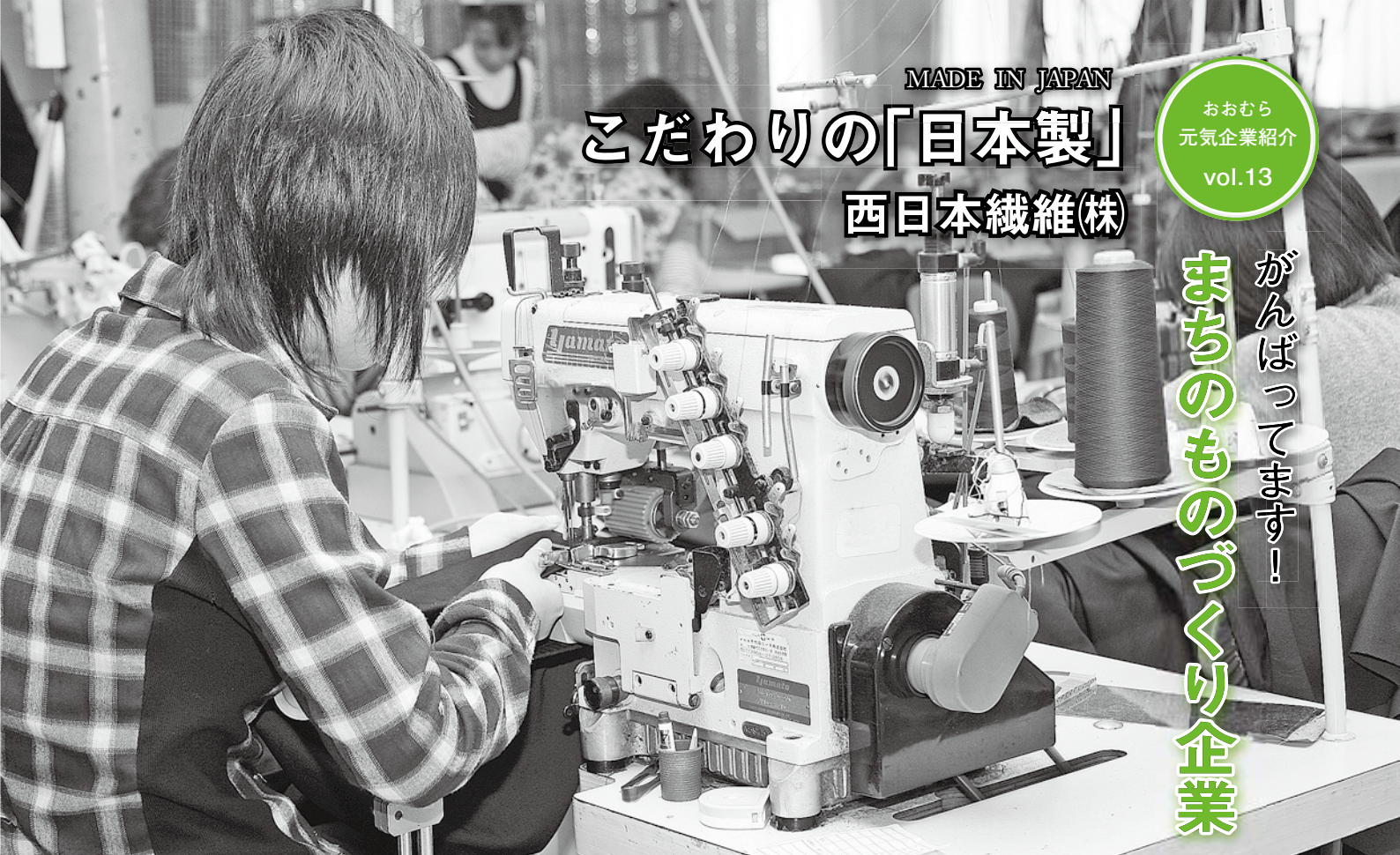
# こだわりの「日本製」

## 西日本繊維(株)

おおむら  
元気企業紹介

vol.13

がんばってます！  
まちのものづくり企業



### 竹

松本町でアパレル(衣服)製品の製造・販売業を営む西日本繊維株式会社は、九州圏内の紡績用繊維原料の運搬業として昭和43年に創業。下着や肌着の製造販売などを中心に、従業員のスキルアップを図りながら設備投資を続け、国内の需要を高めてきました。しかし、アパレル産業が海外製造にシフトし始めた近年、井手社長がたどりついたのは「日本製」へのこだわりでした。

そのこだわりは材料選びから始まります。糸や生地などの材料は自ら産地へ足を運び、直接確かめた日本製のものを使用しています。世界でもトップクラスといわれる日本の繊維素材の品質管理のもと、安心して良品質な製品を消費者へ提供しています。

主に、企画からデザインまですべてを行うオリジナルブランド商品の製造や、スポーツウェア、下着などの他社ブランド製品の委託製造を含め、裁断から縫製・出荷までのすべての工程を行っています。

工場には数十台のミシンが並び、1ラインを3〜6人体制で、商品によっては70種の工程を通して一つの商品を作りあげています。商品によって縫い方もさまざまで、機械の高度化が進んでも、天候や湿度に応じたミシンの調整や指先の感覚、針先の微調整など熟練した技術が必要とされます。従業員の皆さんは、その熟練の技術で20種類以上のミシンを操りながら商品の製造にあたっています。

現在、力を入れているのがオリジナルブランドの確立です。その一つに企画からデザインまで全てを手がけた製品をテレビショッピングで販売するため、ご婦人の井手専務自ら東京へ出向き、番組に出演し商品を販売しています。評判は上々で、1回の放送で約4〜5千件もの注文があるそうです。

また、地元・個人などからのオリジナルTシャツやユニフォームなどの注文には、低価格でお客様の要望を反映した製品を提供し、とても好評だそうです。井手社長は、「縫製業はものづくりの中でも組み立て業です。つまり、糸や生地は産地から始まるタスキリレーで、製品を組み立てる縫製業は最終ランナーにあたりその責任は重大です。『日本製』にこだわり、大村の名前を全国に発信し、アパレルで町おこしができればうれしいですね。」と語ってくださいました。

### interview

専務取締役 井手 保子氏

社長婦人の保子さんは、専務として商品の企画やデザイン、テレビショッピングへの出演などご夫婦で活躍されています。「お客様の喜びを力に変え、商品づくりに励んでいます。日本製の着心地の良さを感じて欲しいです。」と話してくださいました。



西日本繊維株式会社

竹松本町545

☎058358

代表取締役 井手眞一郎氏

社員数 23人

